



 Rotary International 2020-21
 国際ロータリー第2670地区

 会長 ホルガー・クナーク(ドイツ)
 ガバナー 篠原 徹 (高松東RC)

 ーマ
 丸亀東ロータリークラブ

 ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
 会長 氏家正俊 幹事 森 英司

2020年11月10日(火)

2020~2021年度 第46年度 第16回 通算第2185回例会

【会長報告】氏家 正俊 会長

◆ 例会開会前に会長・幹事会を行ないました。

【幹事報告】森英司幹事

- ◆ ロータリーの友・ガバナー月信の11月号を 配布しております。
- ◎ 篠原徹ガバナーとバナー交換を行いました。

【プログラム】

★ 客 話 (第2670地区ガバナー:篠原 徹 様)

2020-2021年度国際ロータリー会長:ホルガー・クナーク氏よりガバナーには、次の重要メッセージをクラブ訪問の際に伝えることをお願いされております。

1. 地区は、新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組みます。

そのためには皆さまからのご支援が必要となります。皆さまはまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることに貢献できます。

- 2. すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、皆さまには次のことを会員に問いかけていただきます。「私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか、またこのビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」この会議を進行する人を選んでください。
- 3. 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合う こと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。 新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不 相応な年齢などありません。
- 4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもだちと交わした約束を守らなければなりません。







- ~四つのテスト~
- 1. 真実かどうか
- 2. 好意と友情を深めるか

- 言行はこれに照らしてから
- 3. みんなに公平か
- 4. みんなのためになるかどうか

R I には世界中から選ばれた18名、会長を入れると19名の理事がいます。1人、2年任期で 入れ替わって理事会を構成します。しかし、19人だけで世界中を回るわけにはいきません から、各地区のガバナーはメッセンジャーとして、その年度のRIの方針を伝える役目が あります。つまり、地区ガバナーであると同時にRIの1年間限定の役員、理事会の代行役 員という立場です。したがって、世界のロータリーが今どのような状況にあるのか、どの ような流れの中にあるのかを、私が今思っていることをお話させていただきます。

RI会長のホルガー・クナーク氏はドイツの方ですが、私が注目したのは奥様のスザンヌ さんです。奥様もロータリアンですが、衛星クラブに入会しています。今、衛星クラブと いう制度ができていて、この地区にも一つあり、正式なロータリアンとして認められてい ます。RIの今年のトップである会長の奥様が、衛星クラブのロータリアンだということ です。今までロータリーの歴史の中でなかったようなクラブが正式なクラブとして認めら れ、そのクラブの会員がRI会長夫人であることが、今の時代では何の違和感もない。 相当時代が変わってきたということが、このことからも分かると思います。

クナーク氏の今年のテーマは原語で「Rotary Opens Opportunities」です。

Opportunitiesで単数形ではない、つまりたくさんの機会ということです。私は英語があま り得意ではありませんが、Opportunityが機会だということは訳すことができます。

しかし、いまいちOpportunityという言葉はピンときませんでした。本当のニュアンスは何 だと。逆に機会を調べてみるとChanceとOpportunityがでてきます。皆さんもChanceとい うのはよく知っているし使うと思います。よく調べてみるとChanceというのは偶然の機会 も含めていろんな意味での機会ですが、Opportunityというのは、はっきりした目的、手段 目標があることに対しての機会。ちょっと固い、オフィシャル的なニュアンスがあること が分かり、納得できました。

ロータリーの目的は四つありますが、その原語にも「Opportunity for service」と書い てあります。つまり、ロータリーの目的ははっきりしています。ロータリーは親睦、人々 との交わりとかいろいろなことがあり、それも一つの価値ですが、奉仕ということがまず 第一のOpportunityです。奉仕に対する機会、ロータリーはありとあらゆることが奉仕に対 する機会でなくてはいけない。ですからロータリーで機会という言葉を使うときChance は使ってはいけない。何でもかんでもいいチャンスがあるということではなく奉仕の目的 がある機会ということで、ロータリーでいう機会はOpportunityでしかないんです。そのた めに、クナーク氏はOpportunityという言葉を使ったのではないかと私は思っています。 また、クナーク氏が言っている内容を読むと、今のロータリーはまずますうまくいってい る。前半ではそんなに悲観することはないと書いています。ロータリー財団の寄付も世界 中で年々増えています。それを運用してポリオの根絶に努めています。米国疾病センター WHO、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ユニセフ等の機関が共同で、世界からポリオをな くそうとしていますが、ロータリーは1979年冬から30数年間イニシアティブを取っている メインプレイヤーの1人です。この間アフリカでポリオが根絶されました。あと2カ所です。 身近なところでも、皆さんが入会して親睦を深めながらロータリーについて勉強して、ロ ータリー精神でもって地域社会、家庭、職場、奨学生交換、青少年育成等々、いろんなこ とをしてきました。しかし、2020年のここにきて、もう一度、奉仕ということをメインに 据えて新たなOpportunitiesを考えましょう。新たなことを展望しましょうということで クナーク氏はこの言葉を選ばれたのではないかと私は思っています。

しかし後半を読んでみると、論調ががらっと変わります。「だけど、僕はこのロータリー を相当心配している」何に対して心配しているんだと。今、相当いいと言ったばかりなの に心配しているよと。よくよく読んでみると、ロータリーの将来に対して、10年先、20年

~四つのテスト~ 1.真実かどうか

- 2. 好意と友情を深めるか

言行はこれに照らしてから

- 3. みんなに公平か
- 4. みんなのためになるかどうか

先、国際ロータリーは本当に生き残っている組織だろうかと。私は20年先にそんなことが あり得るだろうかと思いましたが、荒唐無稽ではないんです。彼が考えているのは、今の 時代の流れは相当速い。今の1年は昔の10年より もっと速いかもしれない。今でも世界中 の情報が瞬時にして分かる、20年先にはもっとすごい時代になる。そのことをクナーク氏 は予言しているんです。 いくら世界のロータリーだといっても、世の中の変化に対応し ていかざるを得ないと思います。先はどうなるか本当のところは誰も分からない。 世界の会員数は最高で130万だったものが、ここ20年余り120万でずっと推移している。 人数だけでいうとロータリーの成長は止まっています。この1、2年のことではなく、20年 近くずっとというところにRIは危機感を抱いています。少子高齢化の時代、日本を含め アメリカ、フランス、イギリス、ドイツなど先進国がリードしてきたロータリーはどうな っていくのか。私たちが考える以上に、RIは危機感を持っていて、2000年ごろからいろ んな制度を変えてきました。Eクラブ、衛星クラブ、入会基準の緩和、長期ビジョンを持 ちましょう、未来の夢企画、何とかしようといろんなことをしてきました。 ですけど、根本的な改革にはならなかったということで、2016年にすごい改革が次々と打 ち出されました。例会は月2回でいい、メークアップは1年間有効、1業種何人でもいい、 業種は問わない、ローターアクト(クラブ)は正式なロータリアンである等々、規定審議会 で決定されました。それに対して日本のロータリアンは驚きました。こんなことで正当な ロータリアンと言えるのか、ロータリーと言えるのかという意見が出てきました。当然で す。今までのロータリーの教えに対して、全く自由な多様性のある、独自性のものをやっ ていい、運営していいということになったわけですから、2019年にも少し追加されました。 そうなると、次の規定審議会ではどんなに変わるか分かりません。さらにその先はどうな るか。では、その変化を誰が決めるのかということです。今の先進国は少子高齢化で会員 は減っています。アフリカ、西アジア、中南米など発展途上国では人口も増えています。 必然的にロータリアンも増えますがアメリカや日本が指導してきたロータリーの運営はで きません。ですから緩めてくれという話が審議会に突然起こってくるわけです。その結果 として、いろいろなことが変わってきたというのが現状だと思います。RIが勝手にねじ まげて変えてぐちゃぐちゃにしているという論がありますが、それは正確ではないと、私 は思っています。こういう大きな流れが世界的に起こっているということだと思います。 では、本当にこれから先はどうなるのかというこですが、数回にわたって規定審議会に参 加された日本の代表の方がこんなことを書いておられまし。「草の根ロータリアン(新興 国の底辺でロータリーを支えている方)の1票1票が世界のロータリーに影響を及ぼす。 その方の意見が結局は規定審議会に反映されて決まっていくだろう。要するにロータリー の制度はRIが上意下達で上からトップダウンで決めるものではない。ボトムアップで底 辺のいろんな方の意見が反映されたものが規定審議会の意見だ」ということです。 多分、これからもそうでしょう。ということは、これから先、もっと変化が出る可能性が あります。例えば例会は自由に決めていいとか、ガバナー訪問は全部のクラブに行かなく ていいとか、将来はより驚く変化が世界のロータリーの流れとして起こる可能性がある。 ですから多様性というのはいろんなことがあっていいわけですから、逆にいえば日本的、 伝統的、かつ長い歴史のある正統派のクラブも、多様性の中の一つとみなせば何の文句も ないわけで、私は日本的なクラブが大好きです。それしか知りませんから、ただ、心の隅 には世界では大きな流れが起こっているんだと、今後、劇的な変化が起こるかもしれない ということを置いておかなくてはいけない。本当のことは誰も分かりませんが、世界の流 れの変化の中にあるのは、ロータリーも例外ではないという思います。

*ロータリーのあり方は時代とともに変化しつつありますが、根本的なもの、四つのテストや五つの中核的価値観などの基本理念については変わらないということは押さえておかなければなりません。

~四つのテスト~

- 1. 真実かどうか
- 2. 好意と友情を深めるか

- 言行はこれに照らしてから
- 3. みんなに公平か
- 4. みんなのためになるかどうか

≪中核的価値観≫

* 奉 仕 私達ロータリアンの重要な要素です。RI を通じて、或いは地区で、或いは クラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。

* 親 睦 ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕 を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族

や国家をも超えて得られるものも有ると思います。

* 多様性 私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。

自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを 認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分

自身の世界も広がると考えます。

* 高潔性 ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を

以って活動しています。これは他人に押し付けるものでは無く、自分で実

践するのみです。黙っていても他人は観ています。

* 指導力 ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。

指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社

会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。



【来訪ロータリアン】(4名)

- ◇ 篠原 徹氏 (高松東RC)*第2670地区ガバナー
- ◇ 東 圭介氏 (高松東RC)*第2670地区幹事
- ◇ 白井 聡氏 (善通寺RC)*香川第Ⅱ分区ガバナー補佐
- ◇ 山内 光氏 (丸亀RC)

【メークアップ】 (1名)

◇ 原 将 嘉 君 (10月19日;善通寺RC)



~四つのテスト~

1. 真実かどうか

2. 好意と友情を深めるか

言行はこれに照らしてから

3. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

【本日のニコニコ】

丸亀東ロータリークラブに訪問させていただいて、ありがとうございました。

本日はよろしくお願いいたします。 : 篠原 徹 第2670地区ガバナー様 < > Big>

83 丸亀東ロータリークラブに訪問させていただいて : 白井 聡 ガバナー補佐様

篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして :氏家 正俊 会長 83

篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして 83 : 森 英司 幹事

83 篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして :前山 佳裕 副幹事

83 篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして :稲毛 謙二 SAA

篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして 83 : 秋山 佳弘 様

:山下 峰彦 さん 83 篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして

83 篠原ガバナー、白井ガバナー補佐、東様をお迎えして : 岡 千枝 様

【出席報告】 第2185回例会

< 1 1 月 1 0 日(火)現在>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
39名	3名	36名	26名	10名	72.22%

第2183回例会

<10月20日(火)夜間例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
39名	3名	36名	27名(1名)	9名	75.00%

【11月17日(火)の例会】会員卓話 (第25年度入会:久保田剛司会員)

【11月24日(火)の例会】会員卓話 (第27年度入会:原 将嘉 会員)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。 具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。 第1.
- 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する 第2 機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- ロータリアン一人一人が個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を 第3. 実践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進す ること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

例会場 オークラホテル丸亀 ☎23-2222

〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50

事務所 オークラホテル丸亀430号室

TEL; 0877-21-6611 FAX: 0877-21-6655

URL; http://www.marugame-east-rc.com

例会日 毎週火曜日 PM12:30~PM1:30 E-Mail; merc@soleil.ocn.ne.jp